

日本初開催
100年記念大会

— 次世代を担うきこえない学生と子どもたちで作り上げる — 2025年デフリンピック大会エンブレムの制作開始について

この度、一般財団法人全日本ろうあ連盟は、2025年デフリンピック大会エンブレムを、下記の方針で制作することになりましたので、お知らせします。

なお、制作にあたっては、共生社会実現に向けたメッセージとするため、国立大学法人筑波技術大学(※)及び東京都と連携・協力し、進めていきます。

(※)筑波技術大学・・・国内で唯一聴覚障害者、視覚障害者のための技術系の国立大学法人。1987年に創立(短期大学)し、2005年四年制に改組。今回はきこえない学生が在籍する産業技術学部が協力。

1 エンブレム制作の考え方

(1) きこえない人を制作の主役に

- 筑波技術大学の総合デザイン学科を中心とした産業技術学部の学生がエンブレムのデザイン案を複数作成

(2) 次代を担う若者や子供たちの参画

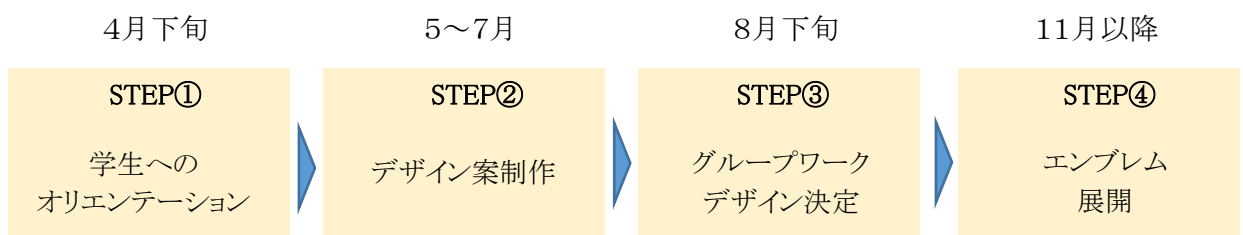
- グループワークの参加者(100名程度)を都内中高校生から募集
- グループワークで都内中高校生(ろう学校を含む)が、デザインを選考し、決定

(3) きこえない人ときこえる人が協働する

- 目指すべき共生社会を体現する作成プロセスとする。
- 制作過程において、手話言語通訳に加え、デジタル技術を活用しコミュニケーションを図る。

2 今後のスケジュール(予定)

※なお、各ステップで制作過程を公開予定です。



3 主な役割

(1) 全日本ろうあ連盟

- ・制作主体

(2) 筑波技術大学

- ・主に総合デザイン学科に在籍する、きこえない学生がデザイン作成に協力

(3) 東京都

- ・制作過程をデフリンピックの認知度向上や都民の参画の機会とし、大会に向けた気運醸成とするために協力を

<参考>

過去のエンブレムデザイン



第 24 回カシアスドスル大会
2021 ブラジル



第 23 回サムスン大会
2017 トルコ



第 22 回ソフィア大会
2013 ブルガリア

【問合せ先】

一般財団法人全日本ろうあ連盟 デフリンピック準備室
(担当/倉野、藤川、杉石)

メール：dp2025@jfd.or.jp